

瑞雲

ずいぶん

◆ 平成23年度スローガン ◆

Beyond the Limit

～ 限界を超えろ！！ ～

平成23年度直方鉄工青年会47代会長を務めます、花田勇平と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

初めに去る5月18日、直方市内、グランデビュにて総会・懇親会が無事開催されました事をご報告申し上げます。平日のお忙しい中出席賜りました御来賓の皆様方に対し、会員一同を代表致しまして改めて御礼申し上げます。真にありがとうございました。

思えば1年前、平成22年度4月通常総会・懇親会にて前46代石橋会長の皆様へのご挨拶を代読させて頂いたのが昨日の事に感じます。この時期を迎えますと当時の異様なまでの緊張感と言葉にならないプレッシャーが鮮明に蘇りますが、当会の監事を初め、会員一丸となって無事対応出来たことが、今年度、会長職を拝命した私にとって、何事にも替え難い、2度と出来ない貴重な経験であり、一年間、職務を全うしていく上で大きな礎になると、心新たに襟を正す思いであります。

本年3月11日、当会も次年度、総会等の準備に追われる最中、東日本が未曾有の大震災に見舞われました。2ヶ月以上経過した今日現在、15,000人に上る死者、今なお安否不明の9,000人を超す行方不明者。福島原発の問題、又それに伴う農作物等の風評被害。用地、資材の不足により進まない仮設住宅の建設。そして毎日報道される110,000人を超す避難民の方々の様子を見て改めて今回の震災の甚大さを再認識させられております。

震災当初、誰もが想定出来なかった緊急事態の折、我々鉄工青年会内でも被災地に向けて、義援金手配、救難物資の輸送等、あらゆる支援活動への議論が自然発生的に起こりました。会員各々も社業におき、客先、仕入先等その対応に追われる中、この想定外の事象に対し、極めて冷静且つ、迅速に協議し青年会員としての考え方を共有出来たことで、組織としての強固な団結力と会員各位の見据える共通した方向性を再確認する事が出来ました。今後はまとめたプランを早急に具現化し、中長期に渡り、被災地復興の一助を担いたいと考えております。

本会はご存知の通り、昭和39年の発足以来、約50年来郷土直方市の発展と共に、活動してまいりました。その長きに渡る歴史を守り、更なる成長を志し、現在30名の会員が自己の研鑽に励んでおります。会員の内容は鉄工業に関わる業種に籍を置くという共通項はありますが、その立場は様々です。すでに経営のトップに

立ち、存分にその手腕を発揮する者。2代目、3代目という立場で迷い、悩みながら必死に理想を追求する者。又は来るべきその将来に備え、現場で汗まみれになり、懸命に技術を磨く者。各々の、その社業に対する真摯で熱い姿勢には見習う点が多々あります。会活動におきましても、決して手を抜く事なく、事業の企画等に取り組みの様子を見て改めて、尊敬の念を抱き、この何にも替え難い出会いに心から感謝しております。加えて、我々『直方鉄工青年会』が近い将来、この地域社会を牽引していく組織であるべきと確信しています。

第47代会長としてその熱気を更なる物とする為にも、本年度スローガンを『Beyond the Limit ～限界を超えろ！！～』とさせて頂きました。私自身が、まず先頭に立ち体現し、限界に挑み、歴代諸先輩方の名に恥じぬ様、その意思、理念を貫く決意を新たにしております。今年度は、地域関係諸団体の皆様方との交流の機会を増やし、新たな企画に挑戦する事で会員個々の更なる意識の向上を図る事で会活動の更なる可能性を追求してまいります。

日頃より当会に対して深いご理解及びご支援賜っております、関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます、加えて本年度更なるご指導、ご鞭撻のほどお願い致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。



直方鉄工青年会
第47代会長
花田 勇平

総務委員会 委員長 石橋 寛之

まず5月通常総会懇親会を盛大に開催する事が出来ました事を、ご臨席賜りましたご来賓、特別会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、私が直方鉄工青年会に入会し、はや7年目を迎えました。ここ数年、会社代表に就任するなど個人的に慌ただしさが増す中、総務委員長の打診があった際は、色々な事が頭を駆け巡りました。しかしながら、過去、多忙の中でもきっちりやってこられた先輩方の姿を思い返してみると、私も乗り越えた先には多くの収穫があるのだと信じ、1年間奮闘してみようと決意を固めました。

さて、今年度の総務委員会の方針は、①通常総会、通常総会懇親会、各例会が円滑に進むよう先行準備に努める事、②会という枠を超えた深い絆を築けるような熱い委員会活動を行う事の2点です。担当事業は、年2回の総会、来賓・特別会員の皆様を迎えての懇親会に加え、昨年から2名の若手新入会員が仲間に加わりましたので、9月には会員相互の親睦を深める事業を行う予定です。

また、当委員会には好機な事に、歴代会長が3名おります。プレッシャーもありますが、私含め若手にとっては大きく成長するチャンスの年でもあります。何事にも納得するまでぶつかり、「自分の成長＝会社の成長」をモットーに、会活動に取り組みたいと思っております。

最後になりますが、今年1年間、精一杯取り組む所存です。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



厚生・広報委員会 委員長 得居 剛

この度、平成23年度厚生・広報委員長を務めさせて頂くことになりました得居剛と申します。本年度入会8年目です。厚生・広報を担当することは初めてですが、昨年度委員長を務めさせて頂きました経営委員会での経験を活かして、副会長、副委員長、委員会メンバーと共に、会を盛り上げ、花田会長を支えたいと考えております。

さて、我々厚生・広報委員会は、8月家族対象事業、11月産業まつり、3月卒業生を送る夕べの3つの担当事業と広報活動として、年2回の瑞雲発行、会の活動をPRするリーフレット作成、本年度の活動を記録する為に写真撮影をおこないます。各事業、活動共に第47代花田会長のスローガン「Beyond the Limit」の如く限界を超えて行えるよう努力していく所存です。

最後になりましたが、皆様にはご迷惑をお掛けすることも多々あると存じますが、何卒ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

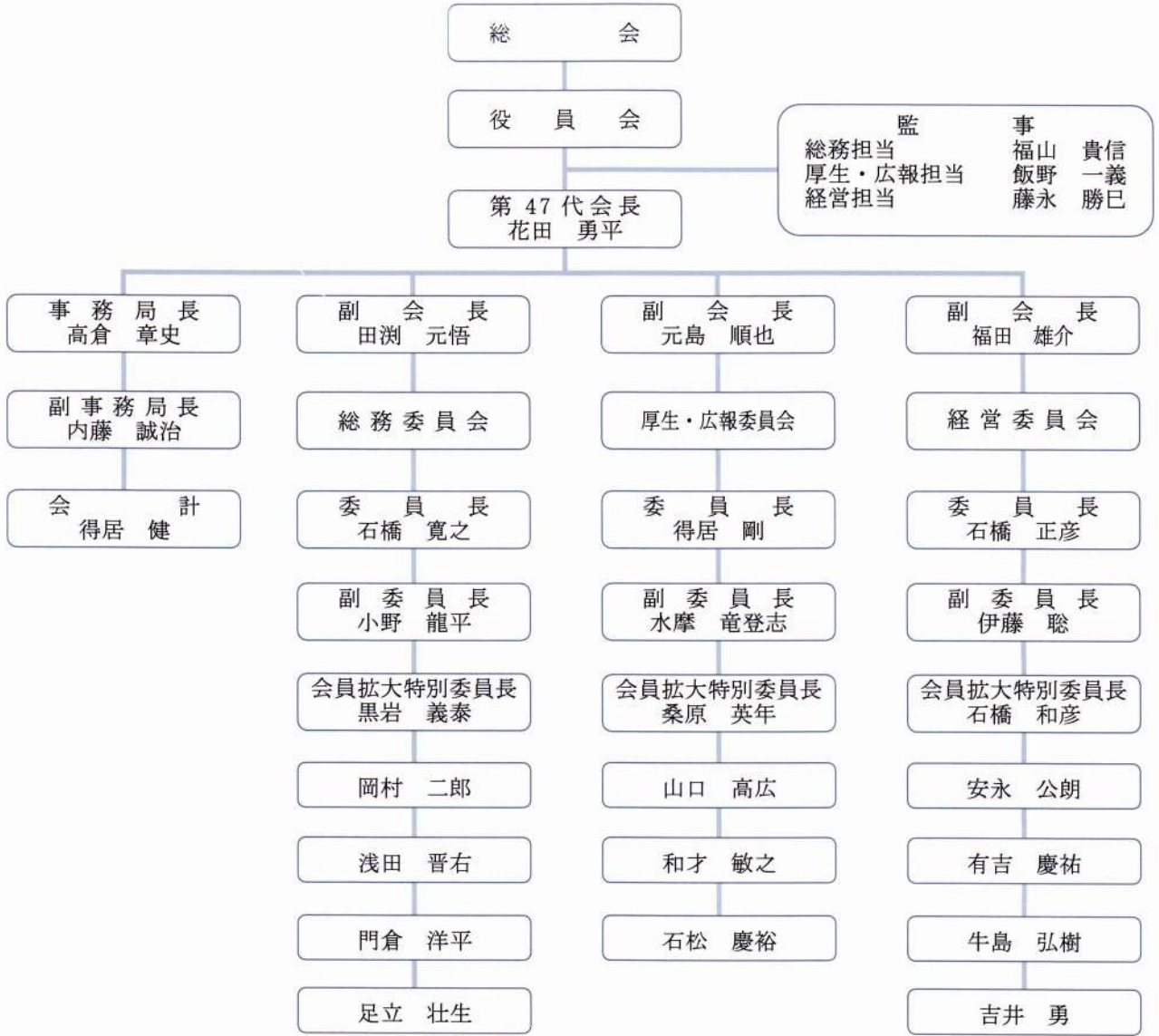


経営委員会 委員長 石橋 正彦

今年度経営委員長を務めます、石橋正彦と申します。当委員会と致しましては本年度花田会長のスローガン『Beyond the limit-限界を超えろ!!』の精神に基づき、今まで行った事のない事業を展開していくべく計画を致しております。数ヶ月間かけて他団体とひとつの事を共に作り上げるという作業の中で、より深い交流を実現し、そこから学びを得るという事をテーマとしており、個人的には初めての試みに挑戦致します。経験した事のない事業を遂行する事で考え、共に悩み、行動し、汗まみれで進めていきたいと考えております。失敗を恐れずにチャレンジ出来る機会を頂いた事に感謝し、微力ながら全力で会活動を行う所存です。一年間宜しくお願い致します。



直方鉄工青年会 平成23年度組織図



平成23年度事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他
総務委員会	総会	例会 懇親会	例会	例会	例会	例会 スポーツ事業	例会	例会	例会	例会	総会 懇親会	例会	
厚生広報委員会					家族対象 事業			産業祭り				卒業生を 送るタペ	瑞雲 発行
経営委員会				夏祭り			国際経営 交流会議			特別会員 合同 新年会			
事務局			会活性化 事業		初盆参り				忘年会		厄払い		

4月 通常総会



5月 通常総会・懇親会



新入会員紹介

株式会社 足立工作所 足立 壮生

皆様始めまして、株式会社足立工作所の足立壮生と申します。主に、水処理プラント設備の機械器具設置工事並びに付帯する機械製缶を生業としております。

このたび、直方鉄工青年会に入会することとなりましたが、青年会には、多くの同業多種の方々や、時代の礎を築かれた諸先輩方がおられると存じております。皆様と、活動を共にし、情報の共有を行い、変動する社会に対しての、先見の明を養うことが出来れば幸いです。ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



直方鉄工青年会

福岡県直方市大字植木 1245-2 (ADOX 福岡/直方鉄工協同組合内)

発行人 直方鉄工青年会 厚生・広報委員会

編集責任者 委員長 得居 剛

印刷 直方鉄工青年会 厚生・広報委員会